

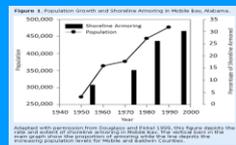
キャリアアップを目指す看護師等の皆様へ (統計分析研究・論文作成研修会のモニター募集)

厚生労働統計協会は、キャリアアップを目指す看護師、保健師、助産師、栄養士、看護系大学院の学生や教員の皆様を対象とした、以下の研修会のモニター（受講料無料）を募集しています。

1. 開催日 平成 30 年 12 月 1 日(土)、2 (日)
10 時 30 分～16 時 30 分

2. 研修内容及び講師 裏面をご覧ください

3. 場 所 イオンコンパス東京八重洲会議室
東京都中央区京橋 1-1-6 越前屋ビル 4 階
※東京駅八重洲中央口より徒歩 4 分 TEL03-6262-3954 (右下地図参照)



4. 対象者 ・ 統計分析を用いた論文の投稿を目指し、研究計画の作成、及び統計手法の選択の考え方を学ぼうとする方

5. 人 数 50 名程度

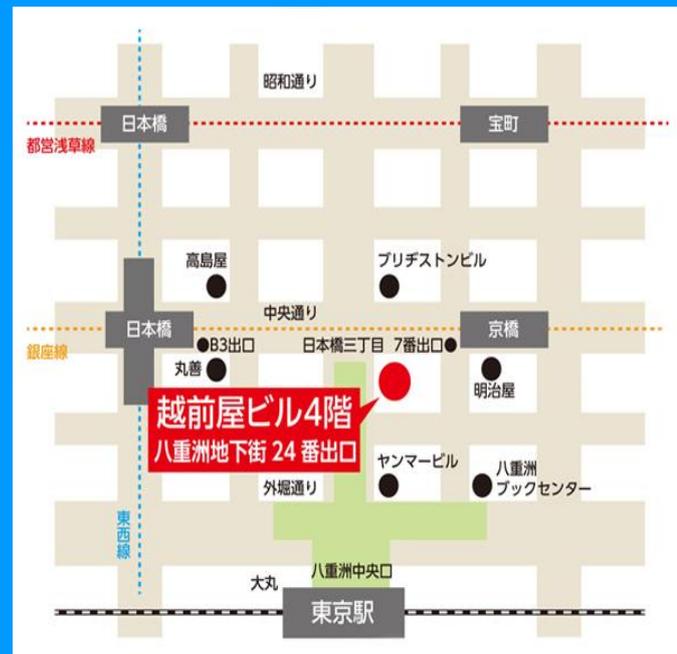
6. 受講料及び教材 無料

7. その他 受講後、アンケートへの回答をお願いします

8. 申込方法 別紙、申込書にご記入の上、e-mail 又は FAX にてお申し込み下さい

※定員になり次第、締め切らせて頂きます

9. 申込〆切 平成 30 年 10 月 31 日(水)まで



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 4 番 9 号
一般財団法人 厚生労働統計協会
TEL 03-5623-4123 FAX 03-5623-4125
e-mail wajiki@hws-kyokai.or.jp
http://www.hws-kyokai.or.jp/

問合せ先

研修プログラム

- 到達目標**
- ・量的研究でできること、特徴・欠点を説明できる。
 - ・研究デザインにあった統計手法を説明できる。
 - ・自分のリサーチクエストにあった研究デザイン・統計手法を選択できる。
 - ・研究デザイン・統計学の基礎知識を説明できる。

12月1日(土)

時間	内容	講師
10:30～10:40	挨拶及び趣旨説明	
10:40～12:10	量的研究のリサーチクエストと研究方法 <ul style="list-style-type: none"> ・研究プロセスの概要 ・リサーチクエスト・仮説の立て方 ・リサーチクエストと研究方法・研究デザインのパターン(量的研究でできること、できないこと) ・研究報告ガイドライン(STROBE, CONSORT, COSMIN など) 	米倉 佑貴 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科 看護情報学分野 助教)
12:10～13:00	昼食・休憩	
13:00～14:30	研究デザイン <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査(質問紙用意) ・代表的な前向き研究: 観察研究、コホート研究、2標本の比較 (1群間の前後比較)、ランダム化比較試験 ・代表的な後ろ向き研究: 症例対照研究 ・尺度開発(信頼性、妥当性) ・交絡の概念、交絡の調整方法の概要 	上村 夕香理 (東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター 中央管理ユニット 生物統計部門 助教)
14:30～14:45	休憩	
14:45～16:15	記述統計 <ul style="list-style-type: none"> ・記述統計と推測統計の違い、記述統計の役割 ・データの種類と形: 離散変数、連続変数 ・データの要約と分布の記述: 図表の例と図表作成時のルール、 代表値、ばらつきの指標、その他の指標(割合・率・比) 	川原 拓也 (東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター 中央管理ユニット 生物統計部門 特任助教)
16:15～16:30	アンケート記入・提出	

12月2日(日)

時間	内容	講師
10:30～12:00	推測統計 <ul style="list-style-type: none"> ・推測統計の役割、記述統計・検定との違い ・点推定と区間推定 ・データの型・研究デザインのタイプとそれに対応する効果の指標: エンドポイントのパターン①割合、②率、③心理尺度・QOL ・リスク差、リスク比と前向き研究 	上村 鋼平 (東京大学情報学環 生物統計情報学 特任講師 博士(保健学))
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～14:30	回帰分析 <ul style="list-style-type: none"> ・回帰分析の目的: 予測か、交絡調整か ・回帰分析の用語: 変数(説明変数、結果変数)とパラメータ(切片と回帰係数)、他 ・結果変数が連続変数のとき: 線形モデル、誤差と残差 ・結果変数が連続変数でないとき: ロジスティック回帰、ポアソン回帰など ・回帰係数の解釈 ・結果の報告と応用事例 	篠崎 智大 (東京大学大学院 医学系研究科 生物統計学分野 助教)
14:30～14:45	休憩	
14:45～16:15	検定 <ul style="list-style-type: none"> ・検定の考え方: 検定はなぜ必要か、検定の仕組み(帰無仮説・対立仮説、 検定統計量、p値、検定の誤り、検定の多重性) ・検定の選び方 ・検定の種類: 目的変数が連続変数の場合(対応のない/ある検定、一元 配置分散分析など)、カテゴリカル変数の場合(X² 検定、Fisherの正確確率検定、 McNemer検定など) 	坂巻 顕太郎 (東京大学大学院 医学系研究科 生物統計情報学 特任講師)
16:15～16:30	アンケート記入・提出	